

平成22年度
蒲郡市事務事業評価
結果報告書

= 産業環境部観光課 =

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	234	観光施設維持管理事業		
-------	-----	------------	--	--

根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例	事業開始年度 事業期間		
-------	----------------------	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
----------	---------------	--	--

市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		
---------------	-------------------------	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	地域の観光振興をはかるために
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	より多く観光施設を利用するよう
そのための 手段 (手法)	観光施設を適切に維持管理する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
管理施設数	91施設	91施設	91施設
維持管理費	32,003,241円	31,203,954円	24,644,000円
観光入込客数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観光客一人当たりの維持管理費	目標			3.52円	
	実績	4.53円	4.54円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	維持管理費 / 観光入込客数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.35人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	32,003	31,204	24,644
	人件費	2,379	1,925	
	合計	34,382	33,129	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	34,382	33,129	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	公衆トイレや観光園地等の維持管理であるため、市が実施する必要があるが、より経費をかけないように効率的に事業を実施する必要がある。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	樹木の廃棄手数料や仮設トイレ設置委託料などの見直しにより、経費節減に努めている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	現時点で考えうる必要最小限の経費によって、維持管理を図っている。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	観光施設の中には老朽化しているものもあり、今後、修繕等により、予算が必要になる可能性がある。各施設の使用について、使用者のマナーの欠如が問題であり、それによって経費がかかる場合がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	施設の状態や使用頻度を把握し、委託料の見直しを図り経費節減に努める。

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	235	観光施設整備事業		
-------	-----	----------	--	--

根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例	事業開始年度 事業期間		
-------	----------------------	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	---------------------	-----	----

基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
----------------	---------------------	--	--

市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり		
----------	---------------	--	--

市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い		
---------------	-------------------------	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	地域の観光振興をはかるために
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	より多く観光施設を利用するよう
そのための 手段 (手法)	観光施設を整備する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
観光入込客数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人
整備事業費	14,451,992円	14,643,153円	3,808,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観光客一人当たりの整備事業費	目標			0.54円	
	実績	2.05円	2.13円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	整備事業費 / 観光入込客数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	14,452	14,643	3,808
	人件費	1,980	1,925	
	合計	16,432	16,568	
財源 内訳	特定財源	3,829	2,564	
	一般財源	12,603	14,004	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	公衆トイレや観光園地等の整備であるため、市が実施する必要があるが、立て替えや整備のし直しが必要な施設なのか、この整備によって観光地としての魅力が増すのか等を考慮する必要がある。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	国や県の補助金を獲得し、市からの支出を削減するように努めている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	整備し直しが必要と思われる施設については、修繕によって対応できるかを判断し、修繕でなく整備が必要な場合、その施設の中で優先順位をつけて整備している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	障害者を含めた多目的トイレへの移行が重要視されているが、改修に多額の費用がかかる。改善的な整備ばかりでは魅力が薄れるため、新規整備が必要と考えるが、今以上の経費が必要となる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	236	観光道路維持管理事業		
根拠法令等	蒲郡市観光施設の設置及び管理に関する条例	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い			

事務事業の内容

目的 (何のために)	地域の観光振興をはかるために
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	より多く観光施設を利用いただくよう
そのための 手段 (手法)	観光道路を適切に整備する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
観光入込客数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人
維持管理費	2,047,450円	1,586,500円	1,806,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観光客一人当たりの維持管理費	目標			0.26円	
	実績	0.29円	0.23円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	維持管理費 / 観光入込客数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,047	1,587	1,806
	人件費	1,980	1,925	
	合計	4,027	3,512	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	4,027	3,512	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	公共用道路であり、利用者が多いため

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	市内観光地域及び道路維持管理業者と密接に連絡をとり、迅速かつ綿密に事業を遂行している。また、道路関連は緊急雇用制度を利用し市からの負担を少なくして、維持管理している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	道路が老朽化し、維持管理費が必要となる中、平成21年度より緊急雇用制度を利用し、適正に管理している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	平成23年度を最後に緊急雇用制度を活用できなくなるため、現在の維持管理を継続した場合、市負担費用が現在の2～3倍となる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	各観光道路は、各温泉地区付近にあるため、平成24年度からは、各地区観光協会に見回りをお願いしたり、清掃時期を不定期(臨時)にするなど、影響がない程度に清掃回数を減らし経費節減に努める。また、市道認定の観光道路については、市道として一元管理できるかを担当課と検討する。

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	237	竹島水族館維持管理事業		
根拠法令等	蒲郡市竹島水族館の設置及び管理に関する条例	事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い			

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	竹島水族館に多く来館いただくよう
そのための 手段 (手法)	水族館を維持管理・整備する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
入館者数	145,310人	124,359人	160,000人
維持管理費	34,633,750円	82,354,370円	32,252,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入館者1人当たり 維持管理費	目標			201.58円	
	実績	238.34円	662.23円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	維持管理費 / 入館者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.35人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	34,634	82,354	32,252
	人件費	1,980	2,317	
	合計	36,614	84,671	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	36,614	84,671	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	海のまち蒲郡の観光施設として必要な水族館であり、現在の規模や安価な入館料を勘案すると市が管理することが望ましいが、国内には民間で管理している水族館もある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度は新たな魅力を創出するための工事があったため、事業費がかかったが平成23年度はその部分に見合う入館者増につながっている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	利用者増による収入の増加があっても、金額の大きな修繕や大きな整備については、市が実施するような指定管理者制度になっている。もっと、柔軟性を持った制度にしていく必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	魅力増のためのハード整備には費用がかかりすぎる傾向があり、現在の入館料における費用対効果が出しにくいいため、比較的、費用のかからないソフト事業を常に展開していくことが必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	平成23年度にアシカ科のオタリアを購入し、アシカショーの充実を図る。また、ソフト事業を水族館スタッフとともに展開していく。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	238	蒲郡まつり事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客に
目標 (目指す成果)	より多く、蒲郡(まつり)を楽しんでいただくよう
そのための 手段 (手法)	蒲郡まつりを開催する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
市負担金	31,200,000円	30,600,000円	30,600,000円
事業費総額	48,739,040円	47,225,614円	43,300,000円
参観者数	210,200人	225,000人	210,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
参観者1人当たりの市負担金	目標			145.71円	
	実績	148.43円	136円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	市負担額 / 参観者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.80人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.35人	一般職	0.35人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.80人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.65人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	31,200	30,600	30,600
	人件費	5,679	4,787	
	合計	36,879	35,387	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	36,879	35,387	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	市民まつり、産業まつり、観光まつりの要素を兼ね備えているまつりであり、全市のなまつりであるため市が実施することが望ましいが、市民団体や産業団体のより一層の参画が必要である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	各催事ごとに組織化されており、市職員が総括的な事務を行っている。また、協賛金や協賛品など、各方面からの協力により市負担金を少しずつ減額している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	市を代表するイベントとして定着しており、協賛金の金額からも市民や観光客の期待は高いと考える。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	各催事を担っている団体が弱体化しており、新しい企画を展開するより継続が精一杯の状態である。催事がマンネリ化しているため、新たな魅力の創出が必要である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	平成24年度は「第30回目」という節目となるため、今年度の事業終了後に各催事の見直しを図ると同時に、新しく参画する団体を発掘する。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	239	蒲郡手筒花火まつり事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	この地方の魅力を楽しんでいただくよう
そのための 手段 (手法)	蒲郡手筒花火まつりを開催する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
市負担金	2,400,000円	2,400,000円	2,400,000円
事業費総額	3,297,656円	2,786,507円	2,749,000円
参観者数	5,000人	3,000人	3,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
参観者1人あたりの市負担額	目標			800円	
	実績	480円	800円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	市負担金 / 参観者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.45人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.20人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,400	2,400	2,400
	人件費	3,176	1,925	
	合計	5,576	4,325	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	5,576	4,325	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	他地域から見て魅力ある花火であるが、入場料などの収入が見込めないため、観光振興イベントとして実施している

効率性

効率性	C 投入された予算、人工に対して見合った成果があまりない
理由	他地域から見て魅力ある花火であるものの、どれも同じ花火であるため、リピーター率が低い。そのためか、集客に結びつきにくい感がある。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	手筒花火以外の伝統文化の披露や動画配信をするなど、エンターテインメント性を追加し集客につなげる必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	もともと地元神社への奉納が目的の花火であるため、観光を目的に放揚をしていただける団体の確保が困難である。また、観客に楽しんでいただくまつりにしていく必要がある。手筒花火は法的な許可によって実施するため、体験型のイベントにするには難しい。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	各花火保存会が参加しやすい時期(地元祭事を避ける)にまつりを実施する。また、手筒花火だけでなく地元の伝統文化を紹介したり、打ち上げ花火を充実させ、エンターテインメント性の向上に努める。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	240	シティドレッシング事業			
根拠法令等		事業開始年度 事業期間	事業開始年度：平成22年度		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光の新しい魅力を創造するため
対象(受益者) (誰・何を)	市内全体が
目標 (目指す成果)	イルミネーションをはじめとする装飾を施すきっかけとして
そのための 手段 (手法)	蒲郡の中心である蒲郡駅前を装飾する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
市負担額		6,000,000円	6,000,000円
装飾面積		871.5㎡	950.0㎡

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
装飾面積1㎡あたりの市負担額	目標			6,316円	
	実績		6,885円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	市負担額 / 装飾面積

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費		6,000	6,000
	人件費	0	1,925	
	合計	0	7,925	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	0	7,925	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	蒲郡駅前広場での実施のため、市が実施することが望ましいが、このまま拡大していくだけでは、公費負担が増すばかりであるため、市民の協力を得られるような施策を考えなければならない

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	蒲郡駅及びラグーナ蒲郡のイルミネーションの点灯に合わせて、市内の各家庭で装飾しているイルミネーションがつき始めるようになった

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	市民参加型イベントへの移行も考慮すべきである

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	上記のとおり。また、モラルのない方によるイタズラによって、毎年イルミネーションの修復費用が増加している
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	市民や企業に協力を求めたり、参加型事業にするなど設置コストの削減を図る

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	241	三河大島海水浴場運営管理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客に
目標 (目指す成果)	海のまち蒲郡を楽しんでいただくよう
そのための 手段 (手法)	三河大島海水浴場を管理する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費	14,958,128円	23,877,301円	95,323,000円
利用者数	19,000人	18,500人	19,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
利用者1人あたりの事業費	目標			5,017円	
	実績	787円	1,290円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	事業費 / 利用者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.40人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.15人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.35人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.25人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	14,958	23,877	95,323
	人件費	2,777	2,191	
	合計	17,735	26,068	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	17,735	26,068	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	海のまち蒲郡を象徴するものであるため、市が実施することが望ましいが、整備費用がかかる

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	平成22年度は西浜栈橋の設計委託料(1,260万円)が入っているため事業費が多いが、それ以外は平成21年度より減額して維持管理を図った。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	整備費用を補填するような収入源を模索する必要がある

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	上記のとおり
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	海水浴場を開設することによって、利が生まれる団体に今以上の協力を求めていく

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	242	蒲郡市観光協会運営補助事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5 . にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興のため
対象(受益者) (誰・何を)	市民、各種産業界及び行政が一体となり
目標 (目指す成果)	蒲郡で観光を楽しむ方を増やすことを目的として
そのための 手段 (手法)	蒲郡市観光協会の運営を補助する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
事業費補助金	41,784,000円	41,784,000円	41,784,000円
宿泊客数	706,496人	683,768人	700,000人
観光客入込数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
宿泊客一人当たりの事業費補助額	目標			60円	
	実績	59円	61円		年度
観光客一人当たりの事業費補助額	目標			6.0円	
	実績	5.9円	6.1円		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	事業費補助金額 / 宿泊客数
	事業費補助金額 / 観光客入込数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.55人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級	0.25人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.55人	次長 課長級	0.15人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.30人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	41,784	41,784	41,784
	人件費	4,278	3,792	
	合計	46,062	45,576	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	46,062	45,576	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	蒲郡市全体の観光振興を行うために補助することは必要であるが、補助金額等の見直しが必要である

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	現在の経済情勢及び旅行形態の変更により、観光客数が右肩下がりの中、平成22年度は平成21年度比でほぼ横ばいの状態である。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	財源の確保、事業の遂行意識、収益事業の展開などの観点から、真の自立を目指すため協会の収益団体化の検討が必要

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	新しい事業展開、PR活動、全市的な取り組みに費用がかかるが、会員からの会費の増額は見込めず、市への要望が多くなりつつある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	財源の確保、事業の遂行意識、収益事業の展開などの観点から、真の自立を目指すため協会の組織・運営の見直しをし、補助額の減額を検討する。

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	243	エリカ号保存・エリカカップヨットレース運営補助事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	海のまちであることを実感いただくよう
そのための 手段 (手法)	エリカカップヨットレースの実施を補助する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
観覧者数	2,000人	0人	2,000人
補助事業費	900,000円	850,000円	850,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観覧者1人あたりの補助費	目標			425円	
	実績	450円	-		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	補助事業費 / 観覧者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.35人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.25人	次長 課長級		補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	900	850	850
	人件費	2,379	1,453	
	合計	3,279	2,303	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	3,279	2,303	

必要性

必要性	D 市が実施しなくてもよい(民間で実施)
理由	エリカカップヨットレースは現在、多くの民間人が委員となっている実行委員会によって運営されており、その中で市民及び観光客が観覧するための事務や報道関係の部分を行政が担っているが、こちらも実行委員会が担うことが可能と考える。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	このレースは競技レースではないため、気軽に参加できるものであり、海のまち蒲郡を体感していただく機会となっている。また、毎年、観覧船の無料希望者が、定員の3倍近くとなっている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	過去25回の実施の中で、年々見直しを図り補助額を減額している。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	海上での観覧の仕方について、観覧可能の方が多くなるような施策を考える必要がある。しかし、観覧船を増加したり映像を陸上で放映するなどをした場合、多額の費用がかかる。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	観覧船の有料化やヨット体験乗船を兼ねた観覧など、実行委員会及び市の負担を少なくする方策を実行委員会と検討する。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	244	いかだレース補助事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	海のまち蒲郡をPRするために
対象(受益者) (誰・何を)	レース参加者と観覧者が
目標 (目指す成果)	多くなることを目的として
そのための 手段 (手法)	いかだレース大会を補助する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
補助金額	2,500,000円	1,600,000円	1,800,000円
事業費	5,248,726円	4,194,929円	4,400,000円
参加者数	4,000人	2,500人	2,500人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
参加者1人あたりの補助額	目標			720円	
	実績	625円	640円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	補助金額 / 参加者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.45人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.15人	一般職	0.25人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.40人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.30人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,500	1,600	1,800
	人件費	3,050	2,456	
	合計	5,550	4,056	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	5,550	4,056	

必要性

必要性	D 市が実施しなくてもよい(民間で実施)
理由	現段階で、民間者を中心とした実行委員会によって運営されている。補助金の支出と事務局機能を市が担っている。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	毎年、出場チーム30チーム、参加者900名を超える「海のまち」定番イベントとして醸成されている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	大会に対する協賛金・協賛品も集まり、年々補助額が減額されてきた。市職員の応援があるものの、民間者の応援も多く、また、レースの存続に対する期待の声も多い。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	平成23年度実施を持って、現実行委員会によるレースの実施を終了する。実行委員会の中心メンバーの高齢化及び担い手不足によるもの。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	平成23年度中に担い手が見つからない限り、この催事を終了とする。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	245	観光ビジョン事業			
根拠法令等	蒲郡市観光ビジョン	事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るために
対象(受益者) (誰・何を)	市民、各種産業界及び行政が
目標 (目指す成果)	観光ビジョンに基づき魅力ある観光交流都市づくりをする
そのための 手段 (手法)	蒲郡市観光ビジョンに基づくアクションプランを実施する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
観光ビジョン事業費	11,200,000円	6,400,000円	6,400,000円
交流ウィーク集客	140,310人	140,593人	145,000人
観光客入込数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観光客一人当たりの事業費	目標			0.91円	
	実績	1.59円	0.93円		年度
交流ウィーク参加者一人当たりの事業費	目標			44.14円	
	実績	79.82円	45.52円		年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	観光ビジョン事業費/観光客入込数
	観光ビジョン事業費/交流ウィーク集客

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.50人	次長 課長級	0.10人	補佐級		係長級	0.25人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.50人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.10人	一般職	0.35人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	11,200	6,400	6,400
	人件費	3,789	3,113	
	合計	14,989	9,513	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	14,989	9,513	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	観光ビジョンは、観光によるまちづくりであるため、蒲郡市観光協会とともにビジョンを推進していく。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	観光交流ウィーク内の催事が周知されて始めており、かつ、ウィークに合わせてイベントを行う団体も出てきた。蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュは、約600名がコンシェルジュとして認定され、自主的活動組織として「コンシェルジュ倶楽部」が誕生した。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	すべての事業は、月1回開催する観光ビジョン運営委員会で審議決定され、観光交流ウィークが1カ月開催の温泉泊覧会へ、また、コンシェルジュ倶楽部の誕生、アサリッチの展開などにつながっているが、まだ行政主導の面がある

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ビジョン策定から5年がたち、観光を取り巻く環境も変化したため、ビジョンの改訂を行った。その改訂版ビジョンに基づくアクションプランを練り直す必要がある。また、コンシェルジュ倶楽部が誕生し、倶楽部活動を支援していく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	観光ビジョン委員会で改訂版ビジョンに対するアクションプランを検討し、「アサリッチ」のようにプラン決定し次第、実施していく。また、コンシェルジュ倶楽部主体の事業を立ち上げていく。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	246	海辺の文学記念館管理事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興のために
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客が
目標 (目指す成果)	蒲郡及び竹島の観光の歴史に触れながら、ゆっくり滞在いただくことを目的として
そのための 手段 (手法)	海辺の文学記念館を管理する

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
入館者数	14,667人	14,276人	15,000人
管理事業費	3,867,180円	3,977,588円	4,327,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
入館者1人あたりの事業費	目標			288.47円	
	実績	263.67円	278.62円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	管理事業費 / 入館者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.25人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.30人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.20人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	3,867	3,978	4,327
	人件費	1,707	1,925	
	合計	5,574	5,903	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	5,574	5,903	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	蒲郡の観光の歴史を知ることができる施設であり、また、観光名所・竹島の象徴的施設にもなっているため、蒲郡市観光協会とともに運営していく必要がある。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	海辺の文学記念館自体の管理運営については、効率的に運営していると思うが、中の展示物の更新や周りの庭園の整備など、他部署との連携がしっかり構築されていない。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	海辺の文学記念館は、観光施設ではあるものの集客しすぎて騒然とすることは避けたい施設である。しかしながら、蒲郡市の観光名所の竹島にある施設であるため、魅力ある、また、来館者に蒲郡市を感じていただく施設であってほしいことから、展示物の更新や庭園の活用方法などにより一層の雰囲気づくりに努めていく必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	ソフト及びハードの整備を考えていく際には、現在の予算配分では無理があるため、整備費用を生み出す方を検討していく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	文学記念館やロケーションなどを利用したソフト事業によるサービス料をもらえる事業展開を考えていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	247	地場産品活用事業		
根拠法令等		事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い			

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光の新しい魅力を創出するために
対象(受益者) (誰・何を)	各旅館の料理長に対し
目標 (目指す成果)	メニューの提案と相談業務を受けるために
そのための 手段 (手法)	栄養士と調理師に地場産品を利用した新料理メニューを開発してもらう

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
開発メニュー数		24品	24品
事業費		5,210,000円	5,809,000円

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
1品あたりの事業費	目標			242,042円	
	実績		217,083円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	事業費 / 開発メニュー数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費		5,210	5,809
	人件費	0	1,394	
	合計	0	6,604	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	0	6,604	

必要性

必要性	B 改善を加え市が実施するのが望ましい
理由	観光振興の面だけでなく、地産地消の推奨、農水産業の振興などが考えられるため、とりまとめ機関として市が実施することが良いと考えられる。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	3か月に1度、5～6品の新メニューを開発しており、しかも、今までの旅館では考えなかった健康指向者料理(ヘルスマニュー)の提案もしている。これは、観光庁が提言している観光テーマ「観光、健康、環境」にも合致している。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	各旅館の料理長を招き、新メニュー発表会を開いているものの、それを採用いただくまでには至っていない。ただ、各料理長がヘルスマニューの導入や食物アレルギーへの対応など、今までに導入していなかった部分に興味を持ち始めた。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	各料理長は、各施設の主であり経験を積んできたものであるため、新メニュー提案を素直に採用いただくことは困難である。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	新メニューをそのまま採用いただくのではなく、その提案メニューをみていただくことで地元食材の活用方法、ヘルスマニューをそれぞれの旅館で考えていくきっかけづくりとしていく。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	248	観光ニューメディア対策事業			
根拠法令等		事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)					
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	地場産業活性化のまちづくり				
市長マニフェストの執行状況	3点 実施中であるが、達成できるには課題が多い				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興を図るため
対象(受益者) (誰・何を)	市民及び観光客に
目標 (目指す成果)	インターネットの利便性の向上活用及び新しい遊びの創出をする
そのための 手段 (手法)	研究専門チーム(ニューメディア対策室)をつくる

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
ネットによる 宿泊予約率	12.8%	17.2%	20.0%

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
ネットによる 宿泊予約率	目標			20.0%	
	実績	12.8%	17.2%		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	ネット予約システムやメールなど、インターネットを利用して宿泊予約をした方 / 全宿泊者

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.00人	次長 課長級		補佐級		係長級		一般職		非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費		21,500	23,830
	人件費	0	1,394	
	合計	0	22,894	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	0	22,894	

必要性

必要性	D 市が実施しなくてもよい(民間で実施)
理由	現在の観光振興策には、インターネット戦略が必要であり、また、新観光コンテンツづくり及び発見が必要である。蒲郡市全体の観光振興策であるが、民間の各会社で実施できる事業である。

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	インターネットによって蒲郡の最新情報を発信しており、市内の宿泊客の予約についてはインターネットによる予約が増えている。また、蒲郡での観光コンテンツを集めた「あそび100」を展開し、そこから現在準備をしている温泉泊覧会へとつながっている。

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
理由	現在は、人が走ることで情報収集ができているが、今後は収集ではなく情報が集積されるようなシステムを構築していく必要がある。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	国の緊急雇用制度を利用しているため、運用できているが、平成23年度を持って制度が終了するため、ニューメディア対策室が無くなった場合に現在と同様の動きができな
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	今年度が終わるまでに、情報収集のシステムとインターネットへの情報提供システムを構築する。

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	249	入湯税関連補助事業			
根拠法令等	泉源維持管理報奨金制度要綱	事業開始年度	事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け		(該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光		
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった				
市長マニフェスト	-				
市長マニフェストの執行状況	-				

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興のために
対象(受益者) (誰・何を)	泉源所有者及び管理者が
目標 (目指す成果)	泉源の維持管理や観光客誘致策を展開するために
そのための 手段 (手法)	入湯税の一部を使用し補助をする

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
補助額	41,098,000円	40,415,000円	45,000,000円
宿泊客数	706,496人	683,768人	700,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
宿泊客1人あたりの補助額	目標			64.29円	
	実績	58.17円	59.11円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	補助額 / 宿泊者数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.25人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.25人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.15人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	41,098	40,415	45,000
	人件費	1,707	1,660	
	合計	42,805	42,075	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	42,805	42,075	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	市税に関係するものであるため

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	泉源を各管理者において適正に管理しているだけでなく、第2美白泉を利用し新たな魅力創出をしたり、各組合で独自の宿泊キャンペーンを打つなど観光振興策を展開している。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	現在の経済情勢及び旅行形態の変更により、観光客数が右肩下がりの中、平成22年度は平成21年度比でほぼ横ばいの状態であったこと。また、観光交流ウィークにおいて、市民に対し無料入浴(チャリティー)をして還元していること。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	宿泊客が減り、それに伴い入湯税が減ることで補助金も減り、今までのような観光振興策が打てないという負のスパイラルに入ってきている感がある。維持管理できない状況にならないように補助金の使用方法や新たな振興策の展開などを考えていく必要がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	最小の経費で最大の効果があがるように各組合等に指導しながら、補助金の有効利用を促進し入湯税増額を図る。その後、補助率の見直しを検討していく

平成22年度事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
事務事業名	250	各種観光団体負担補助事業			
根拠法令等	各観光団体規約等		事業開始年度 事業期間		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け			(該当しない事業については記入不要です。)		
基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり		施策名	観光	
基本目標、施策に対する貢献度		2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト		-			
市長マニフェストの執行状況		-			

事務事業の内容

目的 (何のために)	蒲郡の観光振興をはかるために
対象(受益者) (誰・何を)	市外の観光団体及び協議会に参加し
目標 (目指す成果)	多くの方に蒲郡を楽しんでいただくこと
そのための 手段 (手法)	広域的な観光事業に負担金を支払う

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
参加団体数	7団体	7団体	6団体
総負担金額	2,393,000円	2,283,000円	2,243,000円
観光客入込数	7,060,684人	6,879,781人	7,000,000人

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
観光客1人当たりの負担金額	目標			0.320円	
	実績	0.339円	0.332円		年度
	目標				
	実績				年度
	目標				
	実績				年度

指標の説明

	総負担金額 / 観光客入込数

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.20人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.10人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	2,393	2,283	2,243
	人件費	1,434	1,394	
	合計	3,827	3,677	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	3,827	3,677	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	外国人誘致や修学旅行誘致など今後も各協議会として積極的に取り組む必要があり、その基盤としての協議会はますます重要で、その協議会のほとんどが行政が主体の団体である。

効率性

効率性	B 投入された予算、人工にほぼ見合った成果をあげている
理由	各協議会の負担金は、各市町村等の宿泊施設数や観光客入込数を基に算定しており効率よく運営されている。

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	インバウンド戦略には、広域で誘致する必要があり、かつ費用もかかるため、協議会での活動はとて有効である。

改善点、問題点等

目標達成に向けた課題、問題点	協議会での活動には、広域的活動であるがゆえに蒲郡の観光施策として取り入れることができない活動がある。
今後の改善内容、計画(時期も含め具体的に)	それぞれの事業目的にあった協議会活動を推進している協議会の活動に積極的にかかわっていく。

平成22年度事務事業評価表	担当	産業環境部 観光課	内線等	1212
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	251	自然公園法手続事務		
-------	-----	-----------	--	--

根拠法令等	自然公園法	事業開始年度 事業期間		
-------	-------	----------------	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	-	施策名	-
------	---	-----	---

基本目標、施策に対する貢献度	-		
----------------	---	--	--

市長マニフェスト	-		
----------	---	--	--

市長マニフェストの執行状況	-		
---------------	---	--	--

事務事業の内容

目的 (何のために)	国定公園の景観を守るために
対象(受益者) (誰・何を)	国定公園内開発希望者が
目標 (目指す成果)	開発を行うために
そのための 手段 (手法)	自然公園法の許可等手続を行う

事業実績(事業の概要)

項目	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
自然公園 申請件数	71件	78件	75件

評価指標

指標名		平成21年度	平成22年度	平成23年度	将来目標値
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				
	目標				年度
	実績				

指標の説明

事業にかかる人工

(単位：人)

H21 人工計	0.15人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	
H22 人工計	0.15人	次長 課長級	0.05人	補佐級		係長級	0.05人	一般職	0.05人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項目		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	0	0	0
	人件費	1,160	1,129	
	合計	1,160	1,129	
財源 内訳	特定財源			
	一般財源	1,160	1,129	

必要性

必要性	A 現行どおり市が実施すべき
理由	法に基づく許可申請であり、県から委任を受けているものである

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
理由	事業費が必要なく、現在、市の担当者が適切に処理している

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
理由	に同じ

改善点、問題点等

目標達成に 向けた課題、 問題点	特になし
今後の 改善内容、計画 (時期も含め 具体的に)	申請手続に関して、業者でも法律が浸透していない感があるため、県とともに申請に関するPRをしていくように努める